

【国土交通大臣賞】

柏の葉スマートシティ

■実施主体：三井不動産株式会社

■場所：千葉県柏市

■背景・経過：

当地区は、首都圏郊外部に位置しており、2005年に開通したつくばエクスプレス線柏の葉キャンパス駅周辺のエリアである。鉄道の開通に伴い、土地区画整理事業や、民間事業者による開発（敷地面積300ha・計画人口26千人）が行なわれ、2016年までに1,800戸超の分譲マンションや大規模商業施設、ホテル等が整備された。

当該地区では、資源・エネルギー問題、高齢化問題等の課題解決都市を目指して「環境共生都市」、「健康長寿都市」、「新産業創造都市」の3つのテーマを掲げており、その実現に向けて公民学が連携して取り組んでいる。

■取組内容：

環境共生都市として、各住戸には、家電機器の自動制御機能等（柏の葉ホームエネルギー管理システム）を標準装備し、街全体では、次世代送電網“スマートグリッド”（柏の葉エリアエネルギーマネジメントシステム）を導入することにより、効率的な蓄発電、CO2削減、災害時の電力維持等を可能にしている。

また、健康長寿都市として、商業施設内には、健康サポート施設や疾病予防をテーマとした施設等を整備している。また、遊歩道を整備し、ウォーキングクラブ等の市民活動を促すことにより、健康長寿に根ざした街を体現している。

さらに、新産業創造都市として、民間事業者が国内最大級のコワーキングスペースを整備するほか、複数民間連携組織「TXアントレプレナーパートナーズ」がベンチャー企業の育成活動等を実施している。



まちの核となる商業施設「ゲートスクエア」と
居住施設等



エネルギー管理システム



健康サポート施設「あ・し・た」



人材交流空間「KOILパーク」